

日銀旭川事務所長のみた
旭川シーン
SCENE 18

消費税、所得税からみた
旭川(後編)

三回シリーズの最後は、所得税の中身からみる資産運用の話です。給与所得などが伸びないから、資産運用で稼ぎを増やす手立てもあります

(以下、「配当所得対象額」等は、札幌国税局の公表データをもとに、当事務所で推計したものです)。

二〇〇八年度から二〇一七年度にかけて、株式運用を中心とする配当所得対象額は、旭川市は、全国や札幌市以上に伸びています。給与所得対象

額も、それ自体の伸びは、全国や札幌市の伸びとほぼ同等です。それにもかかわらず、それらをまとめた源泉所得税対象額の伸びは、全国の三分の一にも満たないのです。

これは、配当所得対象額の源泉所得税対象額に対するウェイトが小さいためです。ウェイトから言えば、配当所得のそれは全国の約二十分の一程度。これでは、配当所得対象額が二倍、三倍と伸びると、全国との差が開くばかりです。

ちなみに、日本銀行も活動に協力している金融広報中央委員会が、全国二万五千人を対象に行なった「金融リテラシー調査

二〇一九年」でみると、北海道は、最後の資金計画を立てている人の割合

その反面、「株式を購入

では全国一位であるほか、生活設計、家計管理の項目でそれぞれ上位にランクインしており、堅実な姿勢が現れています。

その反面、「株式を購入

したことがある人の割合」は全国で四十四位。投資信託で三十九位と資産運用では下位に甘んじています。配当所得対象額の源泉所得税対象額に占める割合(二〇一七年度)などを勘案すると、旭川市は当該アンケートに現れた北海道の位置付けをさらに下回る状況にあると思われま

| 2008年度→2017年度 (変化率) | 全国 | 札幌 | 旭川 |
|------------------------|--------|--------|--------|
| 利子所得対象額 | -56.4% | -68.9% | -73.3% |
| 配当所得対象額 | 2.1倍 | 2.6倍 | 3.2倍 |
| 給与所得対象額 | 10.1% | 10.0% | 9.6% |
| 源泉所得税対象額計 | 25.1% | 8.8% | 8.0% |

| 2017年度、ウェイト (対源泉) | 全国 | 札幌 | 旭川 |
|----------------------|-------|-------|-------|
| 利子所得対象額 | 2.0% | 0.3% | 0.4% |
| 配当所得対象額 | 23.8% | 3.4% | 1.3% |
| 給与所得対象額 | 59.3% | 92.4% | 94.1% |

資料出所:国税庁「統計年報」、札幌国税局「税務署別課税状況」

株式投資等は、運用手段の中ではハイリリスク、ハイリターン部類であるため、あくまで自己責任で投資していただくものであることを強調しつつ、個人的には資産運用の効率アップとして検討対象に含めては如何かと思えます。株式運用に対しては、一獲千金を狙った



賞。【中本浩信(なかもとひろのぶ)】一九六三年東京都生まれ。東京大学法学部卒。支店は鹿児島、神戸に勤務。二〇一八年八月から旭川事務所長。趣味は絵画鑑賞。

博打のような印象を持たれるかもしれませんが、経済学的にはリスクマネーの供給とも捉えられ、新規事業の立ち上げなどには欠かせない資金です。映画で言えば「ダークヒーロー」のようです。ダークヒーローの例はバットマンで、その誕生、活躍、最後を描いた三部作の最終作が「The Dark Knight Rises」(邦題、「ダークナイト ライジング」)二〇一二年)です。主人公は、まちを救うため我が身を犠牲にした幕引きを(毎月第四週に掲載します)

自衛隊第二師団の司令部には、旧陸軍第七師団ゆかりの「北鎮」の銘が掲げられています

